

令和2年度 事業報告

(自令和2年4月1日至令和3年3月31日)

1 はじめに

これまで一宮法人会は公益社団法人として「法人会の理念」に則り、国及び地域の発展に貢献する経営者の団体として、多くの事業を行ってきました。

当年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、法人会活動が制限を余儀なくされるなか、感染拡大防止対策を講じて、可能な限りの事業活動に取り組んできました。

個別の事業としては、毎年税務署が主催で開催していた年末調整説明会が新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて全国的に開催が見送られたこと、また、本年の年末調整は例年と違い多くの改正事項があることから、一宮法人会で初めての主催事業として年末調整説明会を一宮市と稲沢市の2会場で開催しました。

租税教室への講師派遣事業については、例年より開催規模が縮小されましたが、青年部会、女性部会、税務経理研究部会などで実施できました。

地域イベントにおける税金展や税金クイズについては、5会場での地域イベントがすべて開催中止となり、税の啓発活動は実施できませんでした。

これらの事業については、今後も税務当局のご指導、ご支援をいただきながら引き続き納税意識の高揚を目指して実施していきたいと考えています。

2 組織関係について

コロナ禍の厳しい社会情勢のなか、休廃業、業績不振などの理由により会員数の減少が続いています。平成28年度より新規会員の獲得をめざし報奨金制度を施行していますが、未だに会員の減少に歯止めがかからず、令和2年度は入会31社に対し、退会が124社で93社の減少となりました。

	会員数 (内 特別会員)	加入率
令和2年3月末	3,234社 (105社)	35.6%
令和3年3月末	3,141社 (102社)	34.8%
増減	△93社 (3社)	△0.8%

部会名	会員数 (令和3年3月末)
青年部会	57名
女性部会	82名
税務経理研究部会	38名

3 実施事業について

(1) 税をめぐる諸環境の整備、改善等を図るための事業（公益1事業）

イ 税知識の普及を目的とする事業

当会の事業として定着している定例研修会は、年3回2か所の会場で延べ9回開催しました。研修内容は「新型コロナウイルス感染症を踏まえた緊急経済対策における税制上の措置」や「適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）の概要」などのテーマについて解説を行うなど、実務に役立つものを取り上げました。

また、税務経理研究部会や支部においても研修会を引続き開催しているほか、一宮税務署のご協力を得て、署長を始めとする税務署幹部の方々による講演会や税務研修会及び法人課税第六部門源泉所得税担当官による年末調整説明会を実施しました。

ロ 納税意識の高揚を目的とする事業

①青年部会、女性部会ならびに税務経理研究部会などによる合同事業「租税教室講師派遣事業」では感染症拡大防止に配慮しながら、29名の講師を12の小学校へ派遣し、36回の授業を実施しました。

②平成24年度から実施している女性部会主催の「税に関する絵はがきコンクール」は9回目を迎え、当年度はコロナ禍であるにもかかわらず、51の小学校から、2,487点の応募があり、今までで一番多くの参加校数及び応募数となりました。また、2年振りに表彰式を開催しました。

③広報事業では、年2回、税務研修会等の記事を中心に掲載をして広報誌「つむぐ」を発行しました。今後も内容をより充実させ、税に対する意識高揚を図っていきます。

ハ 税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

税制委員会を中心として、税制に対する意見を集約し、法人会としての提言を国会議員や地元の首長に手交してその実現を求める活動を行ってきました。

(2) 地域経済の活性化と、健全な発展を図るための事業（公益2事業）

イ 地域経済の健全な発展を図るための事業

①女性部会が「初心者向け Zoom の使い方」をテーマにしたセミナーを開催しました。

②「ポストコロナ時代を戦い抜く与信管理対策」をテーマにした経営セミナーを開催しました。

③「With/After コロナを見据えた働き方対策」をテーマにした労務セミナーをコロナ禍の環境を考慮し、初めての試みとしてオンラインセミナーの形式で開催しました。

ロ 地域社会への貢献を目的とする事業

歴史学者の小和田哲男氏を招いての文化講演会を参加人員制限によるソーシャルディスタンスの確保を行い、開催しました。

(3) 会員の福利厚生に資する事業（収益事業）

イ 保険事業

会員企業の経営者と従業員の保障・福利厚生を支援するため、全法連や愛知県連と連携を取りながら各種保険制度等の普及促進に取り組み、企業リスクをサポートしました。

ロ 健康増進事業

会員企業の役員、社員のための人間ドックや生活習慣病予防健診の斡旋を実施しました。

ハ 広告掲載事業

会報誌を利用した広告については、従来通り提携先の保険会社を中心にしたものです。

(4) その他（相互扶助等）の事業（その他事業）

会員の親睦を深めるために実施予定であったバス研修は、感染症拡大防止の観点から、参加者の健康と安全を第一に考え、中止としました。

今後もしばらくは感染症拡大防止対策を講じた事業活動を続けることとなりますので、皆様にはご理解を頂きますようよろしくお願いいたします。

また、公益社団法人の目的として公益事業に重点が置かれていますが、やはり会員あつての法人会であり、限られた予算の中で会員の皆様に法人会の加入メリットを享受してもらえる活動に今後とも努めていきます。

実施事業の詳細は別表（事業一覧表）のとおりです。